

株式会社トーア紡コーポレーション

令和7年12月期 第2四半期（中間期） 決算説明資料

（令和7年1月1日～令和7年6月30日）

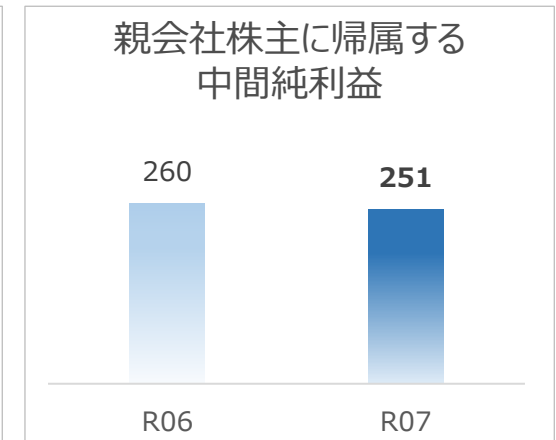
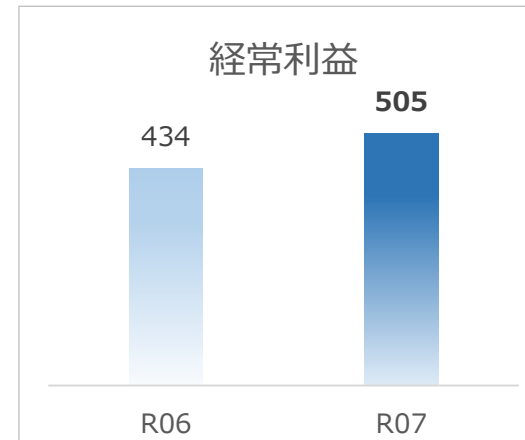
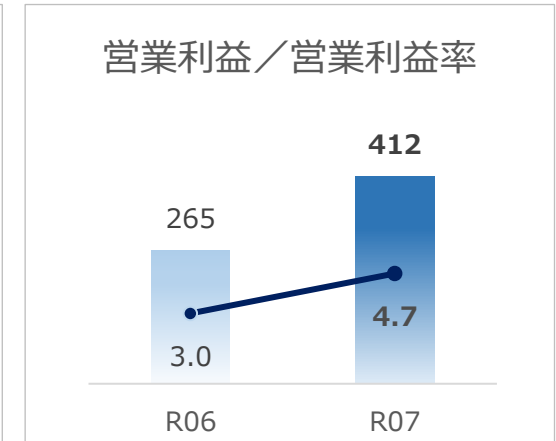
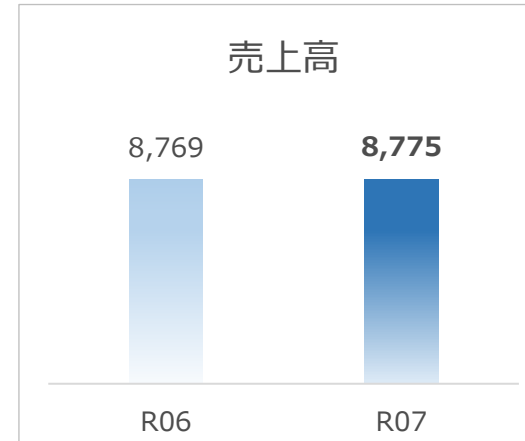
令和7年8月8日

The logo for TOABO, consisting of the letters "TOABO" in a bold, white, sans-serif font, set against a solid blue rectangular background.

▶ 令和7年12月期 第2四半期（中間期）業績	P. 2 ~ 11
▶ 令和7年12月期 業績予想	P.12
▶ トーア紡グループのSDGs	P.13 ~ 15
▶ トピックス	P.16
▶ 免責事項	P.17

第2四半期（中間期）連結決算概要（金額：百万円）

	第2四半期(中間期)累計		前年同期比 増減率
	令和6年 12月期	令和7年 12月期	
売上高	8,769	8,775	+0.1%
営業利益	265	412	+55.5%
営業利益率	3.0%	4.7%	+1.7pt
経常利益	434	505	+16.3%
親会社株主に帰属する 中間純利益	260	251	△3.3%



前年同期比で微増収、営業利益・経常利益は増益、親会社株主に帰属する
中間純利益は税制改正に伴う繰延税金負債の計上で減益

第2四半期（中間期）セグメント別業績（金額：百万円）

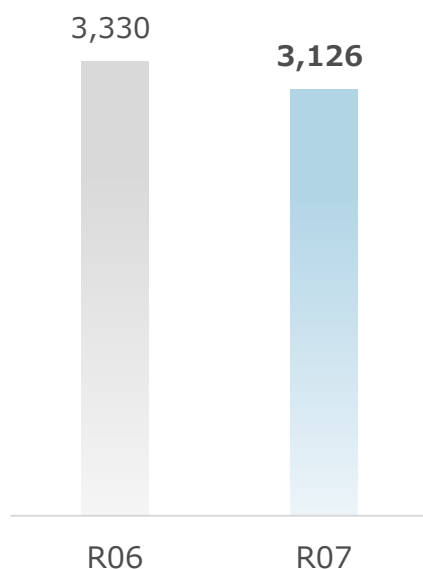
	第2四半期（中間期）累計						前年同期比 増減率		
	令和6年12月期			令和7年12月期					
	売上高	営業利益	営業利益率	売上高	営業利益	営業利益率	売上高	営業利益	営業利益率
衣料事業	3,330	167	5.0%	3,126	253	8.1%	△6.1%	+51.5%	+3.1pt
インテリア 産業資材事業	3,476	86	2.5%	3,570	67	1.9%	+2.7%	△22.4%	△0.6pt
エレクトロ ニクス事業	756	4	0.6%	529	△4	—	△30.1%	—	—
ファイン ケミカル事業	417	△17	—	702	60	8.6%	+68.0%	—	—
不動産事業	451	259	57.5%	447	261	58.5%	△0.9%	+0.9%	+1.0pt
その他	336	△51	—	399	△32	—	+18.8%	—	—
調整額 （販管費等）	—	△184	—	—	△194	—	—	—	—
合計	8,769	265	3.0%	8,775	412	4.7%	+0.1%	+55.5%	+1.7pt

第2四半期（中間期）業績 セグメント別概要（金額：百万円）

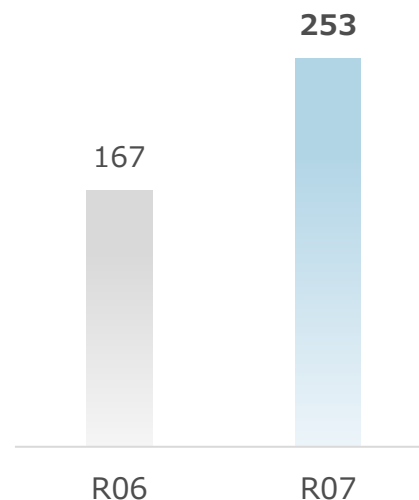
衣料事業

		(前年同期比)
売上高	3,126百万円	△6.1%
営業利益	253百万円	+51.5%
営業利益率	8.1%	+3.1pt

売上高



営業利益



業績概要

毛糸部門

- ▶ セーター用ニット糸の受注が不調で減収

ユニフォーム部門

- ▶ スクール制服向け素材は、得意先アパレルの在庫調整の影響を受けて減収
- ▶ 官公庁制服向け素材は、受注増と納品の前倒しに加えて、別注案件の獲得もあり増収
- ▶ 企業制服向け素材は、カタログ案件が低迷しており減収

テキスタイル部門

- ▶ 郊外店アパレル使用素材の非ウール化へのシフトが顕著で減収

毛糸製造販売を主体とする中国現地法人

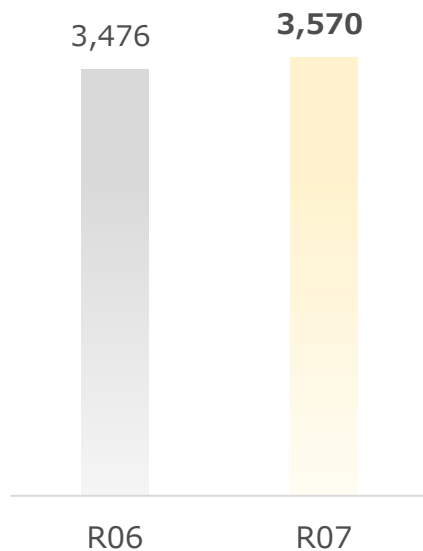
- ▶ 日本向けの輸出が堅調で増収

第2四半期（中間期）業績 セグメント別概要（金額：百万円）

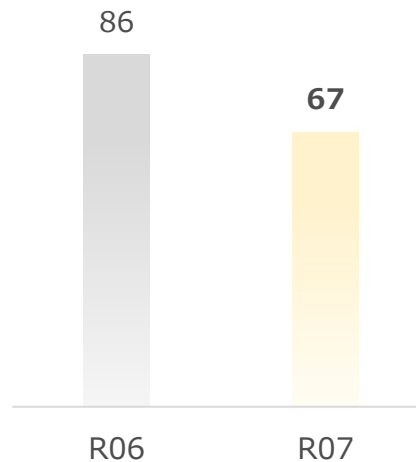
インテリア産業資材事業

		(前年同期比)
売上高	3,570百万円	+2.7%
営業利益	67百万円	△22.4%
営業利益率	1.9%	△0.6pt

売上高



営業利益



業績概要

自動車内装材部門

- ▶ 国内の自動車生産量が戻り、順調に推移し増収となったが、新たに導入した製造ラインのトラブルで、生産効率が一時的に低下したことにより減益

ポリプロファイバー部門

- ▶ 自動車内装材用原綿は順調に推移したが、展示会向けカーペット用原綿の需要が低調となり減収減益

カーペット部門

- ▶ OEMでは需要が落ち着き減収減益となったが、一般資材は自動車の生産量が戻ったことにより好調に推移し増収増益

特殊繊維部門

- ▶ カーボン繊維の受注は好調だったが、生産体制が追いつかず減収減益

不織布部門

- ▶ 寝装、防草関係が順調に推移し増収増益

自動車内装材製造販売の中国現地法人

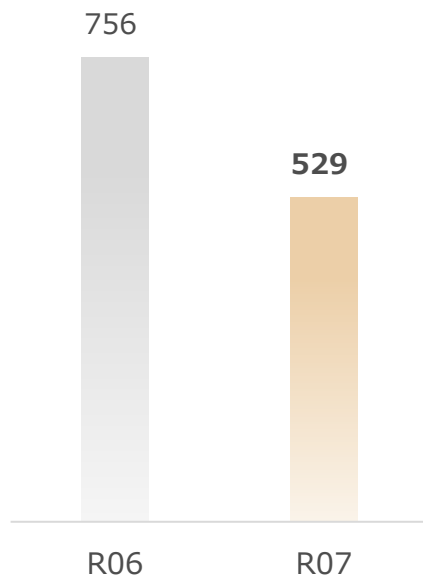
- ▶ 一昨年より日系自動車会社の減産が続いており減収減益

第2四半期（中間期）業績 セグメント別概要（金額：百万円）

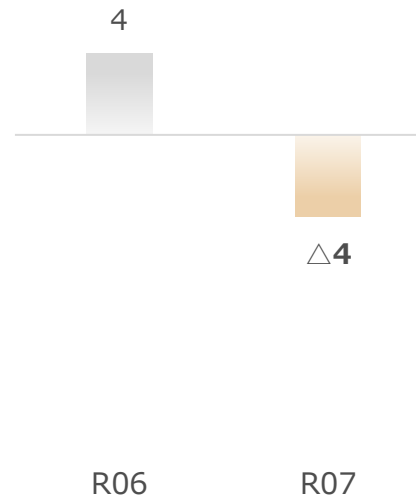
エレクトロニクス事業

売上高	529百万円	(前年同期比) △30.1%
営業損失	4百万円	前年同期は 営業利益4百万円
営業利益率	—	前年同期は 営業利益率0.6%

売上高

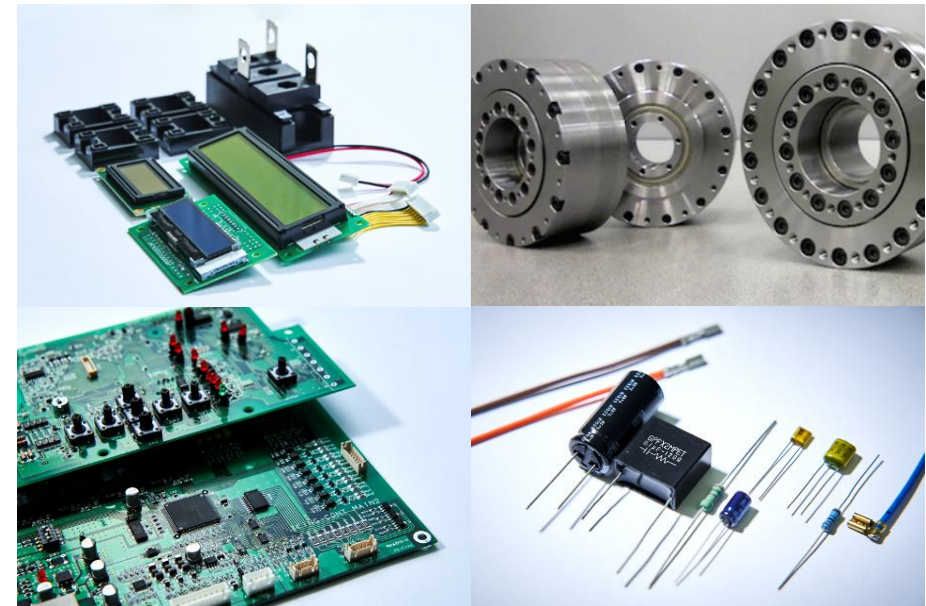


営業利益



業績概要

- ▶ 主力の電動工具向けコントローラーは、中国生産の米国向け製品が米国の関税政策の影響を受けて、大幅な生産調整となり減収減益
- ▶ パワー半導体の販売においては、産業機器分野で回復基調にあるものの、関税による影響を考慮した発注調整により受注が低調



第2四半期（中間期）業績 セグメント別概要（金額：百万円）

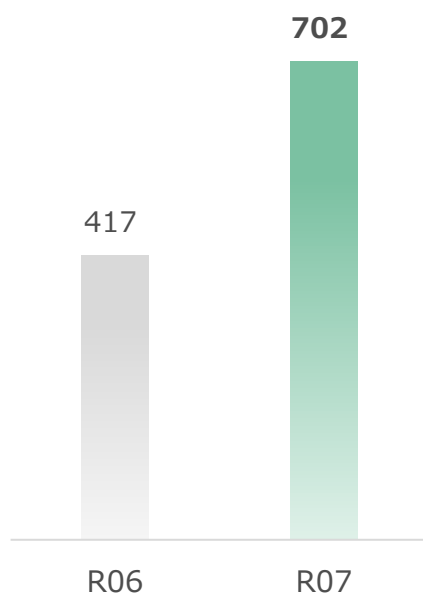
ファインケミカル事業

売上高	702百万円	(前年同期比) +68.0%
営業利益	60百万円	前年同期は 営業損失17百万円
営業利益率	8.6%	前年同期は利益なし

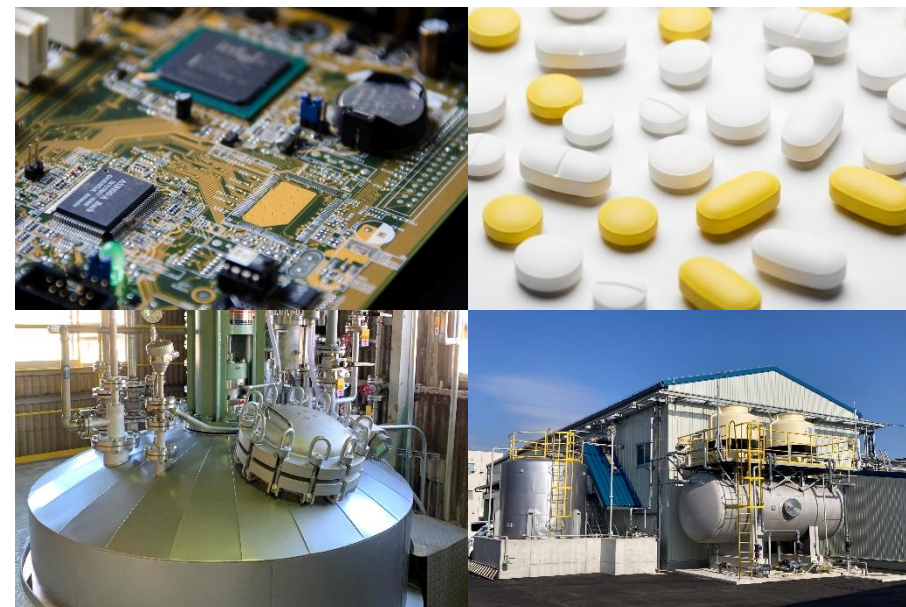
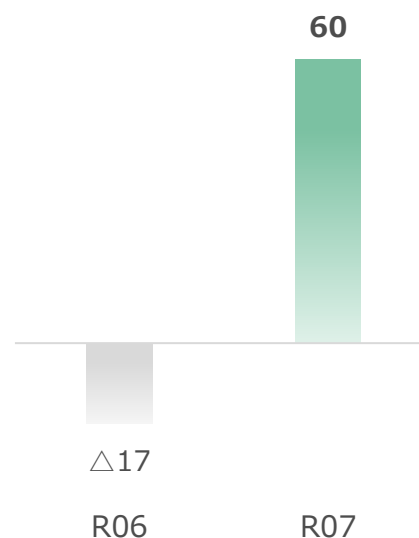
業績概要

- ▶ 電子材料分野は、半導体関連向けの生産販売が順調に推移し増収
- ▶ ジェネリック医薬分野は、医薬部外品向けが好調で増収

売上高



営業利益



第2四半期（中間期）業績 セグメント別概要（金額：百万円）

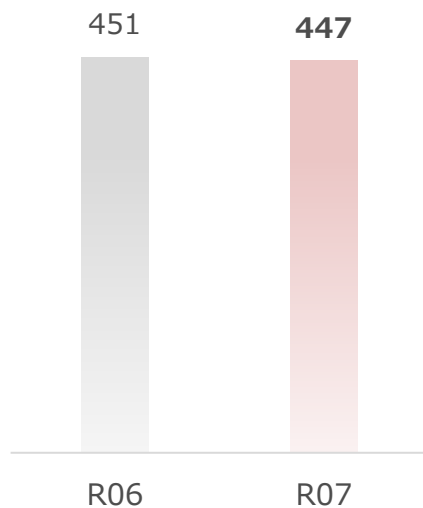
不動産事業

		(前年同期比)
売上高	447百万円	△0.9%
営業利益	261百万円	+0.9%
営業利益率	58.5%	+1.0pt

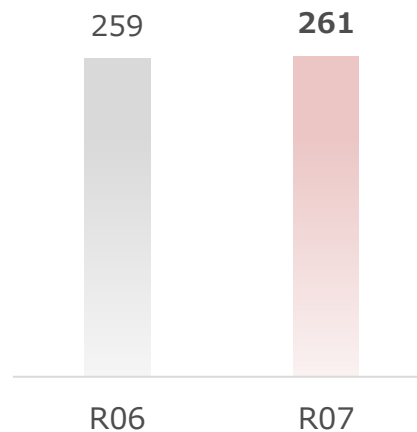
業績概要

- ▶ ショッピングセンターのテナントの一部が撤退した影響を受けわずかに減収となったが、販売費の減少により微増益

売上高



営業利益

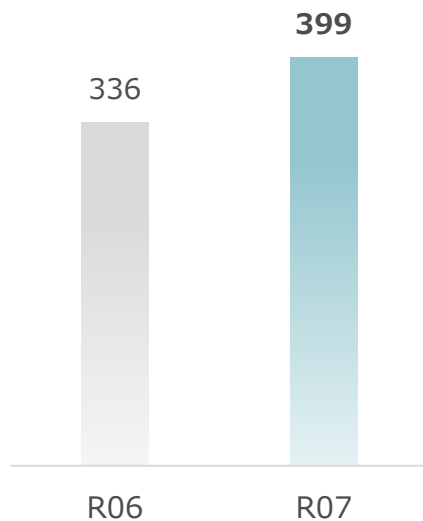


第2四半期（中間期）業績 セグメント別概要（金額：百万円）

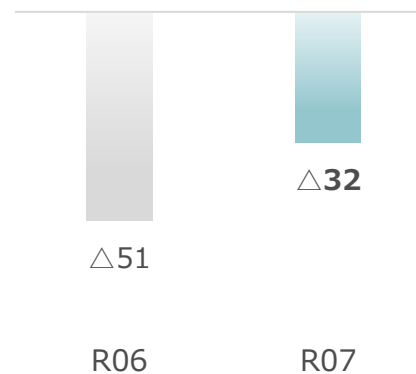
その他の事業

売上高	399百万円	(前年同期比) +18.8%
営業損失	32百万円	前年同期は 営業損失51百万円
営業利益率	—	前年同期も利益なし

売上高



営業利益



業績概要

自動車教習事業

- ▶ 大学生を中心に、順調に入校生の確保ができ増収

ヘルスケア事業

- ▶ 京都大学発のアンチエイジング原料を使用したOEM化粧品の販売が好調に推移し増収

洋菓子店の運営事業

- ▶ ほぼ前年並みで推移



第2四半期（中間期）業績 連結貸借対照表サマリー

（金額：百万円）

連結貸借対照表	令和6年12月	令和7年6月	増減
流動資産	11,200	11,223	+22
固定資産	23,641	23,748	+107
資産合計	34,842	34,971	+129
流動負債	8,912	8,560	△351
固定負債	12,502	12,924	+422
負債合計	21,415	21,485	+70
株主資本	11,753	11,916	+163
その他包括利益累計額	1,665	1,568	△96
非支配株主持分	8	0	△8
純資産合計	13,427	13,485	+58
負債・純資産合計	34,842	34,971	+129
（自己資本比率）	38.5%	38.6%	+0.1pt

第2四半期（中間期）業績 連結キャッシュフロー サマリー

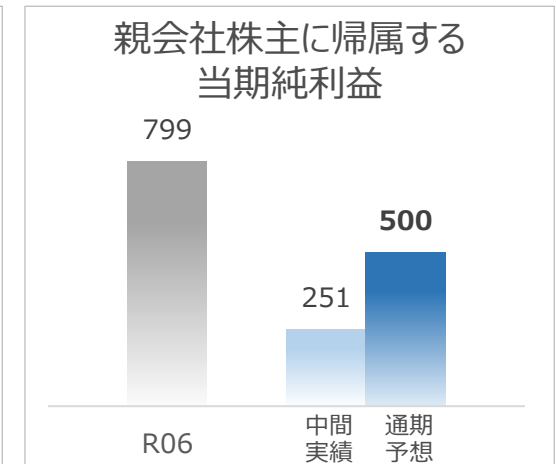
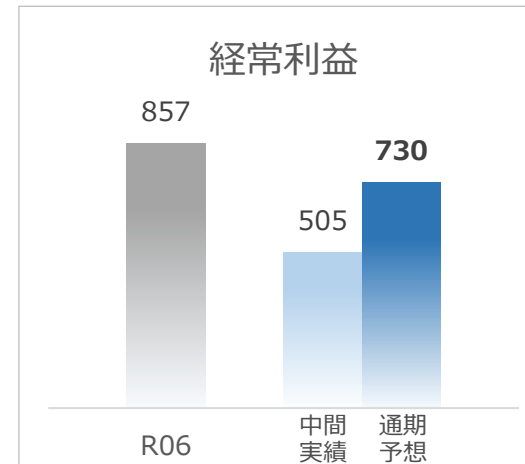
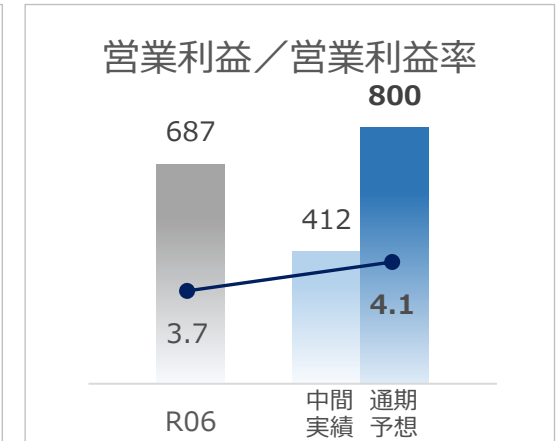
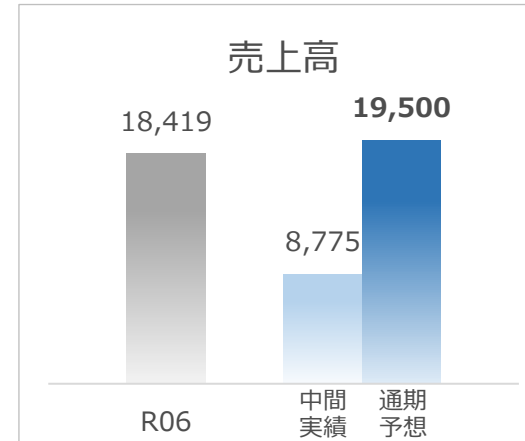
（金額：百万円）

	令和6年6月累計	令和7年6月累計	
純利益	411	605	
減価償却費	187	218	
運転資金	△2,061	△775	営業キャッシュフロー
その他	△341	△543	主な減少要因：
営業CF	△1,804	△494	売上債権の増加 656百万円
			棚卸資産の増加 134百万円
設備投資	△183	△152	投資キャッシュフロー
その他	△136	292	主な増加要因：
投資CF	△320	139	投資有価証券の売却による収入 130百万円
長・短期借入金増減	2,401	17	主な減少要因：
			有形固定資産の取得による支出 149百万円
配当金	△105	△113	財務キャッシュフロー
その他	△92	△6	主な減少要因：
財務CF	2,202	△102	配当金の支払額 113百万円
CF増減	121	△492	



令和7年12月期 業績予想概要（金額：百万円）

	実績	中期経営計画	
	令和6年12月期	令和7年12月期	前期比増減率
売上高	18,419	19,500	+5.9%
営業利益	687	800	+16.4%
営業利益率	3.7%	4.1%	+0.4pt
経常利益	857	730	△14.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	799	500	△37.4%



令和7年12月期通期業績予想は、中期経営計画通り

トーア紡グループのSDGs

環境にやさしい企業活動

中部地方電気使用合理化委員会委員長表彰受賞

トーア紡マテリアル株式会社 四日市工場

2025年2月、長年にわたるエネルギー使用合理化への取り組みが評価され、エネルギー管理功労者として中部地方電気使用合理化委員会委員長表彰を受賞しました。

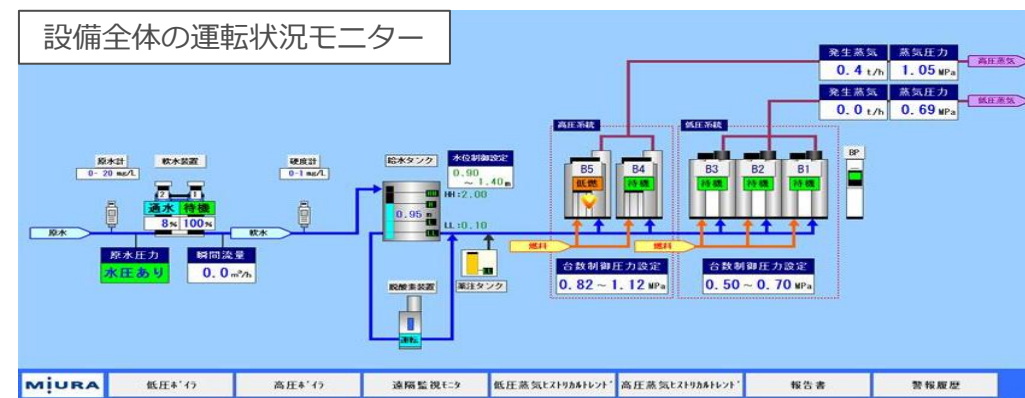
取り組み内容

- ・ガス焚き高効率ボイラーへの更新
- ・高効率空調設備化
- ・モーターおよびポンプのインバーター化
- ・LED照明化



2025年5月、中部経済産業局「中部地域の省エネ応援サイト」に企業事例として掲載されました。

詳細は、当社HP「NEWS」をご覧ください。（<https://www.toabo.co.jp/news/492.html>）



省エネへの取り組みによる効果

炉筒煙管ボイラーを高効率の貫流ボイラーに更新し、重油から都市ガスに燃料転換した結果、生産量当たりの燃料使用量は16.5%減少、CO₂排出量は38.7%減少しました。



項目	旧ボイラー （重油燃料）	新ボイラー （都市ガス燃料）	変化率
燃料使用量	1,404 kL/年	890.2 千m ³ /年	16.5%減
生産量当たり原油換算	61.67 kL/百万m ²	51.48 kL/百万m ²	
CO ₂ 排出量	3,805 t-CO ₂ /年	2,038 t-CO ₂ /年	38.7%減
生産量当たりCO ₂ 排出量	165.71 t-CO ₂ /百万m ²	101.55 t-CO ₂ /百万m ²	

燃料の使用量とCO₂排出量が大幅に削減され、
エネルギー効率の向上、環境負荷の低減を実現

TOABO

トーア紡グループのSDGs

環境配慮の仕組みづくり

GREEN WOOL

VALUE CHAIN

～CSR、環境負荷低減と経済性の実現～

TOABO SOTO

ケケン
試験認証センター



尾州発の新たな環境基準の確立を目指して

東亜紡織(株)と(株)ソトーは、ケケン試験認証センターの協力のもと、SDGsの達成に向けて『GREENWOOLバリューチェーン』を立ち上げ、『CSR、環境負荷低減と経済性の実現』をミッションとして、羊毛業界のグローバルスタンダードを目指し、構築・運用を進めております。

現在、尾州の協力工場を中心に加盟が進んでおり、CSRの評価の実施や各サプライチェーンの使用エネルギーなどをモニタリングし、CO₂、産業廃棄物排出量の削減に取り組んでおります。

2025年度取り組み状況

- ▶ CO₂排出量を中心に環境負荷INDEXを作成中
- ▶ ブランド化の推進中
(アパレルへの提案を実施中)
- ▶ 環境配慮取り組みアイコンを作成
- ▶ ウールリサイクル商品の開発を推進



トピックス

TOABO

『大阪プロレス祭り』in 大阪・関西万博 にヘルスケア事業部が出店

(株)トーア紡コーポレーションのヘルスケア事業部が、2025年5月6日（火）から7日（水）にかけて大阪・関西万博EXPOアリーナ「Matsuri」で開催された『大阪プロレス祭り』in大阪・関西万博に出店いたしました。万博の来場者の方々に向けて、「ONU」ブランド製品やグループ会社であるムサシノ製薬(株)の製品など、ヘルスケア商品の販売とPRを行いました。また、『大阪プロレス祭り』にご出演されたプロレスラーの方々にもブースにお越しいただきました。



本資料中の業績予想、見通し及び事業計画に関する記述等は、本決算発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、記載された将来の業績を保証するものではありません。

本資料・データの無断転用はご遠慮ください。
